

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…小規模多機能ホーム ウェル・アイ

サービス種類…小規模多機能型居宅介護

会議開催日…令和 5 年 11 月 25 日（土）

開催場所…小規模多機能ホームウェルアイ 2F

出席者

事業所	2 人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	2 人
松江市職員	人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他（ ）	人

議事

・活動状況報

登録者数 10 月 26 名 11 月 27 名

利用者介護度 10 月 要支援 1…1 名 要支援 2…3 名 要介護 1…9 名

要介護 2…7 名 要介護 3…0 名 要介護 4…4 名 要介護 5…2 名

11 月 要支援 1…2 名 要支援 2…3 名 要介護 1…9 名

要介護 2…7 名 要介護 3…0 名 要介護 4…4 名 要介護 5…2 名

利用者の移動 4 名(新規登録 3 名、入院 1 名、)

更新要介護度 なし

利用者様状況 ・入院 89 歳女性(介護 3)自宅で転倒し入院。手術後、転院し特養入所待ち

・新規 84 歳女性(認定中)ご主人と二人暮らし(主人もウェルアイ利用)

週 1 回の訪問(買い物援助)→11 月登録解除

・新規 87 歳女性(介護 2)息子と 2 人暮らし。自宅で転倒し胸腰椎多発圧迫骨折
で入院。退院後、ウェルアイで連泊(痛みが軽減するまで)

大腸癌手術後、人工肛門造設

→ストマの取り扱いについて看護師の指導を基に研修実施

・新規 96 歳女性(支援 1)息子と 2 人暮らし。息子は入退院を繰り返す。その間独りで暮らす。

行事活動 ・ジェスチャー、輪投げ、リズム体操、玉入れ、棒体操、新聞折りゲーム、ボール回し、クイズ
歌クイズ、歩行訓練、お手玉、ボーリング、貼り絵

・クッキング(ぜんざい)、柿の皮むき、柚子切り、番茶詰め

・雑巾縫い、ウェス切り

・誕生会 10 月 2 名 11 月 1 名

事案・ヒヤリ報告

・76 歳女性(介護 4)夕方に職員間で、業務について話していた。テーブルの上に部屋割りのボード

を少し離れて置いていた。またテーブルを背にして話していたため、異食に気付かなかった。

→異食のある利用者様なのに、手の届く場所に物を置いていた。近くで作業する際は目を離さない。
また物を手に届く位置に置かない。

- ・ 75 歳男性(介護 1)昼食後離設。西口玄関より外へ出る。職員は本人の動きを見ており、玄関のセンサーの音も鳴ったので本人の名前を呼ぶ。すると急に駆け出し階段を駆け下りていく。玄関下に職員がいたので呼び止めてもらうが本人は止まることなく道路を走って行く。本人見失い職員 2 人で周辺を捜索するが見つからず。交番へ捜索依頼する。1 時間後自宅付近で発見、保護し帰設。

→昼食後から玄関の方へ向かう姿があった。玄関のセンサーは入れ見守りしていたが、まさか声をかけた所で走り出すことは予測できなかった。

離設事案について検討…行政へ事故報告提出。無断外出者・離ホーム対応マニュアルの見直し
事故発生時の対応手順作成。利用日の職員配置の見直し。玄関のセンサーを入れる。本人のできる事を提案し、一緒に行く。

- ・ 89 歳女性(介護 5)午前ホールで尻もち。歩行練習後ソファに戻る途中に、バランスを崩し、尻もちを付く。介助者は支えきれず。ゆっくり座った状態になる。

→外傷なし。歩行が不安定な時は無理をせずに 2 人介助で行う。他職員に声をかける。

- ・ 95 歳女性(介護 4)トイレ内で尻もち。職員が誘導したことを忘れ、他職員がトイレと壁の隙間に座っているのを見つける。

→外傷なし。職員ミス。介助途中で他の事をせず、責任をもって対応する。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐